

平成25年度 事業計画

I. 平成25年度事業方針

「常に人々の健康の増進と生活文化の向上に奉仕する」というサンスターグループの目標を見据えて、当財団は設立以来30有余年、今日まで各種の社会貢献をしてまいりました。

本年度も、これまでの財団の歩みを踏まえ「財団活動の国際化」と「歯科領域に軸足を置きつつ、隣接する医科領域への活動拡大」を事業方針とし、常に当財団の「社会的使命」を問い直ししつつ、「社会貢献」の道を厳しく追求して行きます。

「財団活動の国際化」として、2011年のサンスター・アメリカ財団の設立に引き続き、欧州（ロンドン）、シンガポール等を候補地として、サンスター財団の国際化を支援してまいります。

また、「歯科領域に軸足を置きつつ、隣接する医科領域への活動拡大」として、歯科診療事業においては、千里歯科診療所移転・拡張（2015年）に向けての最先端の歯科診療スタイルの構築と、医科歯科連携、訪問歯科への取組の検討を進めてまいります。

歯科健診・保健指導事業においては、特定健診特定保健指導（いわゆる「メタボ健診」）と協働できる新しい歯科健診・保健指導事業モデルを追及してまいります。

II. 本年度事業計画（施策）について

本年度も、昨年度に引き続き「財団活動の国際化」と「歯科領域に軸足を置きつつ、隣接する医科領域への活動拡大」を具体化すべく、次のような事業を推進します。

1. 教育啓発事業

① 「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー*」の開催（継続）

ハーバード大学ジョスリン糖尿病センターとの共同開催で、昨年までの4年間計6回開催しました当セミナーを本年度も開催を予定しております。

* 「肥満・糖尿病、栄養と口腔保健推進セミナー」

糖尿病専門医、糖尿病療養士、管理栄養士、歯周病専門歯科医等を対象とした糖尿病と歯周病の関わりについての教育シンポジウム

② 糖尿病患者支援ポータルサイトへの支援（継続）

患者支援サイト内コンテンツの制作にあたり、糖尿病患者を特に栄養と口腔保健の観点から支援します。

2. 助成事業

① 海外留学の奨学助成－金田博夫研究助成基金（継続）

すでに3名の医師、2名の歯科医師のハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センターへの留学を助成しておりますが、本年度も国内の優れた若手糖尿病専門医、歯周病専門歯科医等の米国研究留学を助成します。

さらに、留学を終えました先生方の研究成果を発表する機会も設けてまいります。

② 口腔と全身に関する優れた学術論文に対する賞の授与（継続）

国内の歯科衛生士による論文を対象とした日本歯科衛生学会学術論文賞「サンスター財団賞」への協賛を実施します。

③ 口腔看護師育成事業の検討

歯科衛生士の教育・育成、特に開発途上国において、全身を視野に入れた優れた口腔看護師、歯科衛生士を育成するための事業の具体的な実現方策の検討を進めます。

3. 調査・研究事業

① エビデンスに基づく新たな産業歯科健診システムの構築

これまで財団が実施してきた産業歯科健診のデータ解析から、実効性のある歯科健診・歯科保健指導の仕組みを構築してまいります。

② 「健康経営*」に資する社員と家族の健康管理のあり方の検討

当財団が、サンスター社員・家族の健康管理に関する事業の企画立案と実施に参画することを通じて「健康経営」につながる健康管理のあり方を追求してまいります。特に、生活習慣病と口腔疾患は共通の生活習慣リスクを有することが指摘されており、特定健診特定保健指導（いわゆる「メタボ健診」）と口腔保健指導との協働の必要性が提案されています。「健康経営」には口腔の健康が必須であるとの仮定の下に、「健康経営」に貢献する医科歯科連携の健診・保健指導のあり方を追求してまいります。

*「健康経営」

「健康経営」は1980年代、米国の経営学者、ロバート・ローゼン氏が提唱した考え方。従業員が企業に不可欠な資本であることを認識し、技術的な支援や健康投資を促す仕組みを構築することで会社の収益性を高めること。

③ 健常者、患者と医療従事者のニーズ調査

健常者、有病者や高齢者の口腔健康に関するニーズが、医療者側に必ずしも十分に把握なされて来たとは言いきれませんが、近年、疾患やその治療に伴う口腔健康の低下について、患者自身が声をあげられることが増えています。そのニーズの汲み上げ方法のひとつとして、財団ウェブサイトインタラクティブなコンテンツを導入してまいります。

④ ニーズに沿ったサービスの提案－訪問歯科診療

高齢者の増加に伴い、在宅歯科診療や施設高齢者歯科健診のニーズに答えるべく千里歯科診療所を拠点とした訪問歯科診療の事業化について、2015年の千里歯科診療所の移転・拡張にあわせて検討を進めてまいります。

⑤ 医療制度や医科歯科連携の将来動向に関する情報提供

医療制度改革、予防医療の重視、e-ヘルス、医療と介護の連携、地域医療連携とその電子化、チーム医療の推進などが進みつつある中で、医科歯科連携の視点から世論・政策の動向を把握、情報提供をおこなってまいります。

4. 従来からの継続事業

① 歯科健診・保健指導事業

各企業健保組合のニーズをふまえ、従来の健診に保健指導を加えた新たなプログラムを提案してまいります。

② 歯科診療事業

電子予約システム導入、レントゲン等の医療情報のデジタル化を進めてまいります。

③ 臨床教育推進事業

歯科衛生士の教育実習機関として附属千里歯科診療所は本年度も他校の歯科衛生士の教育実習を受け入れます。

以上